

【飯山小学校】説明会における質問・意見等の概要

1 参加人数

日にち	会場	時間	参加人数
令和4年10月16日（日）	飯山小学校体育館	10時～	37人
		14時～	12人
		17時～	0人
		合計	49人

2 意見提出用紙による意見等提出件数

提出件数	12件
------	-----

3 質問・意見の概要

○…質問 ●…意見・要望 △…説明会后、意見提出用紙等で提出された質問等

→…質問に対する回答

※同趣旨の質問や意見については、とりまとめて記載しています。

※「質問」については、市の回答を併せて記載しています。「意見・要望」及び「説明会后、意見提出用紙等で提出された質問等」については、今後の取組の参考とさせていただき、市の回答は記載していません。

【質問】

（取組の考え方・進め方・スケジュール）

- 市の基本的な考え方は分かったが、我々は何を検討すればよいのか。
- 本日の説明会では、市が取り組んでいる内容を御案内させていただくとともに、飯山小学校の現状や今後の検討の方向性を説明させていただいたものです。今後、アンケート調査や意見交換会で保護者や地域の皆様の御意見を伺って方策の方向性を整理していきたいと考えています。
- 将来的には統合した方がよいのではないと思うが、いつ頃するのかを伺いたい。
- まだ統廃合を行うと決まったものではありません。ただ仮に統廃合を行う場合については、実施までに十分な周知期間を設けることを想定しています。在校生やこれから就学される方など様々な方がいらっしゃいますので、例えば急に来年度から統合しますということは当然なく、準備するための期間を設けていきます。

○ 方向性が決まるのは、スケジュール通りなら最短で4年後ということか。
→ 説明資料 31 ページのスケジュールは、最低でも必要だと考える期間を踏まえ、目安としてお示ししているものとなります。適正規模・適正配置の方策の実施時期については、皆様からの御意見を踏まえた上で決定したいと考えています。仮に皆様から早期に実施してほしいという御意見が多い場合には、スケジュールを前倒しする可能性も考えられます。

○ 検討組織はどのようなメンバーで構成されるのか。保護者・地域の方・地元企業なども含めて意見を聞くべきではないか。また、小学5～6年生は、自分自身で物事を判断することができるので、子どもの意見を聞いて、子どもの目線に立った学校づくりを進めることが必要ではないか。

→ 市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針は、公募の市民の方、学識経験者、市立小・中学校の校長先生などを委員とした組織で策定した経緯があります。今後、地域で検討組織を設けさせていただく場合は、基本的には地域の方を中心に構成させていただく予定です。

○ 施設更新時期とコストメリットを考えると、小鮎小学校を建て替えるのではなく、飯山小学校に統合するという考え方もあるのか。

→ そのような方策もあり得るものと考えます。今後の方向性については、通学に関することや財政的な視点など、総合的に判断する必要があり、様々な情報を提示させていただき、皆様からいただいた御意見を考慮した上で、最終的に決定していきたいと考えています。

（教育環境）

○ 飯山小学校の児童数が少ないことによる課題について、保護者から意見があれば教えてほしい。

→ 保護者の方から直接御意見を伺う機会はありませんでしたが、実施したアンケートの中では、人間関係や相互の評価などが固定化しやすいという御意見がありました。今後実施するアンケートの中でも、保護者の方の御意見を伺う機会を作っていきたいと考えています。

（通学関係）

○ 今も郵便局前で交通安全のボランティアを行っていただいているが、通学路で危ない箇所がある場合は、安全対策を考えてもらえるのか。

→ 適正規模・適正配置の取組に当たっては、教育委員会だけではなく、道路

部や政策部などの関係部署とも連携を図って取り組んでまいります。通学路の変更をする場合や、危険な箇所がある場合には、関係部署と協議した上で、十分配慮していきたいと考えています。

○ 統廃合を実施する場合、安全に通学できるように、通学路を新設するということは検討しているか。

→ 適正規模・適正配置の取組に当たっては、教育委員会だけではなく、道路部や政策部などの関係部署とも連携を図っています。安全に通学できることが第一だと考えていますので、関係部署と協議した上で、十分配慮していきたいと考えています。

○ 特別支援学級の児童もスクールバスを利用できるのか。また、利用できる場合、バスの乗り降りを先生が補助してくれるのか。

→ 現時点では、そこまでの検討は進んでおりません。特別支援学級に在籍する場合、現在も特別支援教育就学奨励費などの補助制度があるため、この制度との関係性を整理していく必要があると認識しています。具体的な内容については、方策の方向性が定まった段階で検討していくことになるものと考えます。また、バスの乗降について、児童の特性によって、個別の対応が必要となるということは認識していますので、仮にスクールバスを運行する場合には、地域ごとに運用ルールを定めていく必要があると考えています。

○ 安全安心に通学できるように、統廃合により学校が遠くなる場合は、スクールバスを検討してほしい。また、スクールバスを運行する場合は、学校全体で利用するのか、希望する家庭のみが利用するのか。

→ 現時点ではスクールバスの導入は決まっていますが、仮にスクールバスを運行する場合は、利用方法について御意見を伺いながら検討していく必要があるものと考えています。

（その他）

○ 公共建築物全体の更新・維持管理費用に対して、充当できる財源として1,427億円としているが、これは教育予算のどの部分を指しているのか。また、その財源は、学校の建て替えを想定した上で積み立てた金額か。

→ 市公共施設最適化基本計画では、学校施設のみではなく、市全体の公共施設についての予算を計上しています。金額については、更新等を想定する施設と過去の施設整備に必要なとなった金額を踏まえ算出したものとなります。

- 厚木市は、これまでに小・中学校が廃校になった事例はあるか。
- 厚木市においては過去には事例はありません。仮に今後統廃合を実施した場合、初めての事例となります。

【意見】

（取組の考え方・進め方・スケジュール）

- 学校の統廃合の検討は時間を要するため、現時点で通学距離などの理由から、小鮎小学校に入学したい場合に、小鮎小学校を選択できる方策を優先的に進めてほしい。
- 通学区域により決められた学校よりも、自宅から近い学校があるので、通学区域以外の学校も選択できるようにしてほしい。
- 統廃合を含めた今後の方向性を検討する前に、飯山小学校が通学区域であっても、希望すれば小鮎小学校や清水小学校に入学できるような制度を第一に検討してほしい。

（通学関係）

- 統廃合によって小鮎小学校に通学することになった場合、宮の里地域からの坂やゴルフ場の中を通って通勤する車など危険箇所が見受けられる。道路が整備されたことによって交通量も増えており、通学路の安全対策を最優先に検討してほしい。
- 仮に小鮎小学校に統合する場合、徒歩で通学するのは遠すぎるので、スクールバスは必要なのではないかと思う。また、保護者が学校へ車で行くことは禁止されているが、教育相談や授業参観などで学校に行く機会があるので、駐車場の確保なども考えてほしい。
- 通学に関して、仮に統廃合するとなった場合、上飯山の奥の方や荻野との境の辺りから小鮎小学校まで、低学年の子が通学するのは現実的ではなく、また逆に、森の里小や毛利台小の通学区域近辺から飯山小学校に通学することも大変だと思う。安心安全に通学できるのは大前提であり、スクールバスの導入は是非検討してほしい。

また、小学校と中学校を建て替えて、市内初の義務教育の小中一貫校を検討してもよいのではないか。PTA活動など子どもたちを支える活動組織をまとめることで、保護者や教職員の負担軽減にもつながると思う。

市民として市の財政や少子化に伴うこの地域の将来を考えると、統廃合を検討することは致し方ない。これからこの地で育っていく未来の子どもたちのために、検討組織で選ばれた委員には、最善の策を検討してほしい。

(その他)

- 飯山地区は市街化調整区域で、家を建てることができないので、子どもが減ってしまうのは当然のことだ。学校の統廃合を検討するより前に、飯山地区の交通利便性を高めることや、子どもが増えるような方向の取組を検討すべきである。

【意見提出用紙による意見等】

(取組の考え方・進め方・スケジュール)

- △ 市が(どことどの区域は一つの学校にするといった)統廃合の方向性を示した方が、もっと建設的な議論になるのかと思う。市民が統合に賛成・反対のアンケートをとると、多分反対多数で終わると思う。何が良い結果だったかというのは、今の段階からは何も分からない。

自分は他市の学校に通っていたが、引っ越して通学区域が変わっても引越し前の学校に市営バスを使って通っていたので、時間をかけず、年度内にでも任意の通学区域外からの通学とバスの使用を特例で認めればよいのでないか。

- △ 職員のはっきりとしない発言や「早くても令和9年度から」という緩い進行に憤りを覚えた。我が子を、なくなると分かっている小学校に通わせたいとは思わないので、一刻も早く選択出来る制度を整えてほしいと思う。小規模特認校制度などを活用し、通学区域を自由化して各小学校の競争力をつけさせて学校を選べるようにすべき。また、中学校もそうすべきだし、そのため市でバス運行でも考えるべき。

市役所は意見を聞くのも仕事だと思うが、遅いと言われたいよう是正していくべきだと思う。

- △ 統廃合になった場合、小鮎小学校・飯山小学校のどちらの校舎になるかは未定だと思うが、校舎、グラウンドの広さ的に飯山小学校が残れば嬉しい。小鮎小学校区では、場所により緑ヶ丘小学校や森の里小学校など選べるが、飯山小学校は選べる学校がないので通学の負担も大きくなる。

- △ 今日の説明の質問の際、この先2～3年後に入学を控えている子どもには、なるべく早めに選択肢を与えてもらえる対応がありそうだったが、我が子の

場合、翌春（令和5年4月）入学のため、飯山小学校への入学が決まっている。その中で、令和9年4月で最短実行といわれると、残り数年だけ小鮎小学校へと決められ、何も選択できない、一番つらい年代になってしまうのが悲しく感じる。その辺について、もう少し明るい話が聞きたかった。

△ 上飯山の地区に住んでおり、子どもが45分ほど掛けて学校に通っている。これから、上飯山地区の児童は減少していくところで、2歳の子どもが小学校に上がる際、周りに同級生がいなくなりそうでとても不安を感じている。

今後、小鮎小学校に統合になった際、さらに飯山地区、特に一番奥の上飯山地区の児童数が減ると思う。そして10年、20年後、先の話だが、子どもが家庭を作って地元に戻ってこようと思えなくなるのではないかと不安に思う。その辺りの対応も踏まえ、統合の検討をお願いしたい。

△ 説明資料17ページの適正配置の方策について、「住居から近い学校への進学」については、すぐにでも選べるように検討してもらいたい。1年半後に入学予定の子どもがいる。転校を避けたい。家から近いところの学校を選択したい。

△ 大きな適正配置をするより、（現在の通学区域の振り分けを廃止して）近年中に通学する小学校を保護者が選択できるようにしてほしい（いじめや不登校等があった場合にも選択できると良いのではないか）。

未就学の子どもが将来安心して通える状況を早急に整えてほしい。また、学童の件も考慮してほしい。

（通学関係）

△ 信号がない場所に信号をつけてほしい。通学区域は関係なく、家から近い学校を選択できる方が良い。

△ 飯山小学校を将来的に小鮎小学校と統合する件だが、経費を軽減する考えも理解できるが、小鮎小学校に統合する場合、飯山小学校の方が断然近いのに、小鮎小学校まで通学する際に路線バスやスクールバスという方策が考えられると位置付けられているが、仮にそれでバス停で待っている際に事故にあったらどうするのか。ここ数年スクールバスでの事故があるのにそういった案を出すのはどういった考えなのか。小鮎小学校まで通学させるのはリスクが大きすぎる。小学生だけでバスに乗せるのも怖い。誘拐されたらどうするのか。事件、事故があってからでは遅い。もしそうなってしまったらどうい

対応をするのか聞きたい。

- △ スクールバスの配置は是非お願いしたい。登下校、誰と一緒に帰れるか探しながら過ごす状況であるため、安全のためにもお願いしたい。

飯山地区は良い所もたくさんあり、思い出もあるのですが、将来的に人が増え、取り残されることなくこの地区が暮らしやすい場所であることを願っている。お店やバス、病院など根本的な暮らしやすさの見直しがなされるとありがたい。

- △ 統廃合を進めるのであれば、スクールバスの充実を図っていただきたい。

飯山小学校の児童と未就学児の両方の子どもがいる。決まった年度に一度に全て移動するのか、段階的に子どもたちを移すのか選択できるようにしてほしい。例えば一番下の子どもだけ小鮎小学校に通わせるとなると、いろいろ把握するのが大変。

- △ 児童数が減少していく中で、統合していく必要があることは仕方がないことだと思う。「スクールバスの導入」「保護者用駐車場の導入」を考えてほしい。